令和７年度　　保育所自己評価の結果

聖慈保育所

【評価について】A⇒出来ている　B⇒やや出来ている　C⇒あまり出来ていない　D⇒出来ていない

１、子どもの発達援助

【１】発達援助の基本

	評価項目	評価結果
1	全体的な計画が子どもの発達特性をふまえて、さらに地域の実態や保護者の意向を考慮して作成されている。	A
2	一人ひとりの子どもたちの発達状況に配慮した指導計画を作成し、定期的に評価を行い、その結果に基づき指導計画の見直しを行っている。	A

【２】健康管理・食事

	評価項目	評価結果
3	子どもの健康管理は、一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A
4	定期的に健康診断を行い、健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	A
5	アレルギー疾患を持つ子どもや体調不良の状況に応じ、マニュアルに従って適切な対応を行っている。	該当なし
6	保育所で提供する食事について保護者に知らせ、理解を得ている。	A
7	子どもが食事を楽しむことができる工夫をしている。	A

【３】保育環境

	評価項目	評価結果
8	子どもが心地よくすごすことのできる環境を整備している。	A
9	生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。	A
10	子どもが自発的に活動できる環境の工夫を行っている。	A

【４】保育内容

	評価項目	評価結果
11	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	A
12	子どもが望ましい社会的なルールや態度を身につけるよう働きかけている。	A
13	さまざまな表現活動が楽しく体験できるように働きかけている。	A
14	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう働きかけている。	A
15	文化や生活習慣の違うさまざまな人たちに親しみを持つよう働きかけている。	A
16	性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないように配慮している。	A
17	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A
18	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	該当なし

２、子育て支援

【１】 保護者・地域等への支援

	評価項目	評価結果
19	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換等を通じて、信頼関係を築くよう努めている。	A
20	子どもの 24 時間の生活を視野に入れ、保護者等との連携および情報共有が行われている。	A
21	保育に関する知識や技術を活かして、保護者等からの相談にあたっている。	A
22	虐待等、不適切な養育が行われていると疑われる子どもの早期発見に努め、速やかに適切に対応している。	A
23	小学校や子ども家庭センター、地域の子育て関係機関と連携し、必要に応じて協力体制を築いている。	A
24	地域の子育て支援の拠点として、地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	A
25	一時保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮している。	A

３、子どもの安全

【１】 安全・衛生管理・危機管理

	評価項目	評価結果
26	事故や災害、不審者に適切に対応できる体制がある。	A
27	食中毒や感染症に対する予防や対策は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A

４、運営管理

【１】組織運営

	評価項目	評価結果
28	職員間において、情報共有する体制がとられている。	A
29	職員が指導助言を受ける仕組みがある。	A

【２】守秘義務の遵守

	評価項目	評価結果
30	守秘義務の遵守を周知している。	A